第6保健事業

予	事業					対象者	i					実施状況・時期		
算 科 目	步表 分類 注1)	事業名	事業の目的および概要	資格	対象 事業所	性別	年	齢	対象者	事業費 (千円)	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	評価 注2)
特定健康診査事業	3	特定健康診査(被扶養者)	受診券(セット券)の送付(4月) 特定健診(集合健診)の予約受付(6月~) 家族健診実施(6月~) レディース健診の実施(7月~)	被扶養者	全て	男女	40	~ 74	その他	1,414	対象者数 849名 受診者数 271名 実施率 31.9% 健診内訳 特定健診 67名 巡回健診 45名 ドック等 63名 レディース健診 96名	各種健診等の受診増に加え、レディース健診により未受診者対策に つながった	特定健診の受診率が依然低い	1
特定保健指導事業	4	特定保健指導	・個別健診機関の実施率向上と改善率の把握 ・レディース健診や家族健診等の初回面談の実施	被保険者。 被扶養者	全て	男女	40 -	~ 74	全員	6,344	対象者数 積極的支援 246名 動機づけ支援 168名 受診者数 積極的支援 197名 動機づけ支援 158名 実施率 積極的支援 80.1% 動機づけ支援 94.0%	受診者の生活胃習慣改善・見直し 等、健康意識の向上に努めた 家族健診の受診増により保健指導 の実施増につながった	受診勧奨の強化と適正服薬指導に より、保健指導対象者の減少を図 る	4
	4	特定保健指導(健保連共同事業)	半日人間ドック実施分の仙台市街及び仙台市内の一部、 健康診査等を対象に遠隔面談やICTを活用して実施	-	全て	男女	35	~ 74	基準該当者	20	対象者数 積極的支援 206名 動機づけ支援 108名 受診者数 積極的支援 78名 動機づけ支援 36名 実施率 積極的支援 37.9% 動機づけ支援 33.3%	組合運営サポート事業や円滑化事 業を活用し、事業所経由にて勧奨 した結果参加者が増えた	受診結果受領後の特定保健指導対 象者の実施がひくいため、保健指 導の強化に努める	1
保健指導宣伝	1,2	健康管理事業推 進委員及び健康 保険事務担当者 合同会議	合同会議の開催(年1~2回)	被保険者・被扶養者	全て	男女	18 -	~ 65	基準該当者	19	年1回 4月開催 参加20事業所 25名参加 別途 8月開催 参加24事業所 31名参加	4月開催 各種保健事業の説明、 組合運営サポート事業の周知 8月開催 マイナンバーカード普 及、利用促進 健康保険証廃止に伴う事務説明会	組合運営サポート事業(健康管理 アプリの参加、禁煙サポートの参加)の参加低迷	1
	2,5	広報事業	すこやかファミリー(各営業所へ年12回) 健康保険のしおり(新入社員や中途採用者へ配付) 健康管理アプリの案内 健保ホームページ	被保険者・ 被扶養者	全て	男女	18	~ 74	全員	1,270	・すこやかファミリー(各営業所 ヘ年12回) ・ホームページ(公告、健康保険 制度改正やマイナ保険証の利用促 進、健保組合の事業内容、各種申 請用紙を周知) ・健康保険のしおり(新規・中途 採用者へ配布している)	ホームページを活用し、健康保険 組合の事業内容、各種助成内容を 周知している		3
	7	ジェネリック医 薬品の利用促進	ジェネリック医薬品に切り替えた場合の自己負担額がどのくらいに軽減されるのかについてお知らせを送付する。 3か月に1回の通知とする。	被保険者・被扶養者	全て	男女	0 -	~ 74	全員	0	効果検証を踏まえ、年間4回(3 か月毎)実施 33件実施(対前年比63.5%)	毎回、同一者とならないよう注意 し通知 件数の変更率9.1%、金額の変更率 17.1%	薬剤の医療費が組合全体で増えてきているが、金額の大きな薬剤の変更はなかったが、R7.3の後発薬品の使用割合も93%なり、今後も周知を含め継続が必要	1

予	事業					対象者	ž					実施状況・時期		
算 科 目	分類 注1)	事業名	事業の目的および概要	資格	対象 事業所	性別	角	F齢	対象者	事業費 (千円)	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	評価 注2)
	2,3	健康スコアリン グレポートの共 有	会議や各事業所への個別説明、健保ホームページ掲載。	被保険者・被扶養者	全て	男女	40	~ 74	· 全員	0	4月開催の健康管理推進委員会にて組合全体版、事業所版の健康スコアリングレポートを配付、説明4月~5月に4事業所に訪問して、保健事業の評価と計画の説明とともに健康スコアリングレポートの説明	特定健診・特定保健指導の実施率 、健康状態と生活習慣に関するリ スク、医療費の動向について共有 した。 健保組合全体と各事業所について 全国平均や同業態との比較、経年 変化を理解し、今後の取り組みを 考えるツールとして活用できる	規模の小さい事業所にはレポート が無い。前々年度の実績である。	5
	3,5	事業所別健診レ ポートの提供	年1回の配付	被保険者	一部の 事業所	男女	40	~ 74	· 全員	0	7月に22事業所に配布。	健康状態と生活習慣リスクについて健保組合との比較、各事業所間のランキングを示し、また前年度の受診勧奨結果報告も行った。前年度の最新健診結果を用いて作成したレポートとなり、健康スコアリングレポートよりも新しいデータであること、健康スコアリングレポートのない小規模事業所も健康課題を可視化することができる	する事業所もあることから、配付	5
	2		アプリを利用し、健康や医療に関する情報を提供するほか、ウォーキングイベントの実施をする	被保険者・被扶養者	全て	男女	0	~ 74	全員	0	アプリ利用者数 247名	アプリ内でウォーキングイベント の実施	アプリ登録者数が増えない	1
疾病予防	1	疾病予防対策救 急薬品の配布	事業所へ配付し、各営業所の応急処置に役立てる	被保険者	全て	男女	18	~ 74	4 全員	5,189	事業所常備薬(内服薬等)を各事 業所、営業所に配布	職場での初期症状や緊急時に使用 されており、受診抑制 (時間外・ 休日) の成果に努めた	特になし	2
	3	健康診査	巡回による健診	被保険者	全て	男女	18	~ 3!	5 全員	12,601	受診者数 1,805名 設置健診会場 1,196名 自社健診 609名	健診結果内訳 異常なし 198名 11.0% 経過観察 1,023名 56.6% 有所見者 584名 32.4%	有所見者数が昨年より47名減少し ているが、若年者の生活習慣等の 改善に努める	4
	3	生活習慣病健診 ・半日人間ドッ ク	事業主の法定健診・特定健診に代えて受診できる健診と し、がん対策を踏まえた健診とする	被保険者	全て	男女	35	~ 74	· 全員	72,255	受診者数 3,044名 県内 2,974名 県外 70名 健診結果内駅 異常なし 12名 0.4% 経過観察 914名 30.0% 有所見者 2,118名 69.6%	受診勧奨を301名に行い46名受診 、勧奨前受診を含め17名が服薬に 結びついた	有所見者率が7割と高く、受診の 有無を把握することに努める 受診勧奨を強化し適正服薬指導に 努める	4
	4	中心筋梗塞発症	糖尿病性腎症及び脳卒中心筋梗塞の予防プログラムにて 、前年度健診結果よるリスク保有者に実施、事業所と共 有し参加勧奨を強化する	-	全て	男女	40	~ 74	基準該当者	44	糖尿病性腎症重症化予防 対象者数 20名 参加者数 14名 終了者数 14名 実施率 70.0 % 脳卒中、心筋梗塞発症予防 対象者数 11名 参加者数 8名 終了者数 4名 途中終了 4名 実施率 36.3 %	初回登録をWEBのみから電話勧奨 にした	脳卒中、心筋梗塞発症予防の参加 が低迷している	3

予	事業					対象者	Š				実施状況・時期				
予 算 科 目	分類 注1)	事業名	事業の目的および概要	資格	対象 事業所	性別	:	年齢	対象者	事業費 (千円)	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	評価 注2)	
	4	若年者保健指導 (健保連共同事 業)	前年度の健診結果より、特定保健指導の基準で抽出し実 施する。特定保健指導年齢前に改善を促す	-	全て	男女	35	~ 38	基準該当者	54	対象者数 38名 参加者数 27名 終了者数 27名 実施率 71.1%	食生活に意識の変化が見られ、腹 囲体重に変化あり	辞退者が11名と多く、事業内容の 周知を図る	3	
	4	服薬者保健指導 (健保連共同事 業)	適正服薬の指導をし服薬コントロール不良者を減少	-	全て	男女	40	(上限なし)	基準該当者	12	対象者数 11名 参加者数 6名 終了者数 6名 実施率 54.5%	特になし	特になし	2	
	4	重症化予防プログラム(組合運営サポート事業)	対象を50歳以上として、重症化を防ぐ	-	全て	男女	49	~ 58	基準該当者	0	対象者数 55名 参加者数 55名 終了者数 32名 途中終了 23名 実施率 58.1%	事業所の勧奨により参加者数、実 施率も高かった	重症化リスクの高い対象者であり 、該当者全員に終了まで実施する 必要がある	2	
	4	若年やせメタボ 保健指導	対象者に通知送付(6月) 初回面談もしくは文書による指導(7月) 2回目面談(10月) 健診結果による評価	-	全て	男女	35	~ 39	基準該当者	0	対象者に通知送付 (7月) 初回面談もしくは文書による指導 (8~9月) 2回目面談 (11月) 健診結果による評価 対象者数:12名 面談指導:4名 (33.3%) 文書指導:8名 (66.7%)		若年から健康管理に関する意識の 改善、生活習慣の改善や受診行動 が重要課題であり、面談の成果は あるものの、健保組合来所による 面談は実施率の低さが課題	1	
	4	受診勧奨通知	7月~2月の期間、約20回発送	-	全て	男女	18	~ 64	基準該当者	0	【共同設置保健師が実施】9月~3 月の期間に計12回にわたって、受 診勧奨の通知とリーフレットを送 付した。 対象者:301名 受診者:46名(受診率15.3%) 実績報告は組合健保全体と各事業 所別の状況を報告した。 【外部委託先による実施】若年の 高血圧の受診勧奨プログラム 8月より対象に通知、12月でプロ グラム終了 対象者:25名 参加者:20名(参加率80%) 終了者:14名(終了率70%) 受診者数:3名(受診率15%) 途中終了・不明:6名(未終了30%)	・受診率は前年より減少した。 ・通知文書のデザインを刷新し、 受診行動の必要性を強調した。リスク重複者や連続年の対象者には 個別的な経年データの図示や、受 診の必要性につ いて理解を促す工夫を心掛けた。 事業所には、通知送付の依頼す る際、受診状況の報告をその依頼を 行い、継続的な情報共有と協力を 心掛けた。	受診勧奨の常態化や意識のマンネ リ化などが課題。 外部委託による受診勧奨は1年の みの補助事業	1	
	3,4	歯科検診(若年 者)	対象者に通知 7~11月に希望者が各自予約、受診	-	全て	男女	35	~ 35	基準該当者	92	生活習慣病健診対象年齢の35歳に 歯周病予防と健康管理・食生活等 を意識づけるため実施 実施期間は7月~11月 対象者数 61名(男性48名、女性 13名) 参加者数 3名(男性 3名、女性 0 名) 実施率 4.9%	健診で要治療者、要指導の把握が できている 参加者全員がその後に受診あり	参加者が1桁台であり、事業周知 ・広報、事業所への事業説明等を 強化すること また、事業が宮城県を主としてお り、他県の歯科検診を活用できて いない	1	

予	事業		事業の目的および概要			対象者	í				実施状況・時期			
予算科目	分類 注1)	事業名		資格	対象 事業所	性別	年	齢	対象者	事業費 (千円)	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	評価 注2)
	3,4	歯科検診(前期 高齢者対策)	対象者に通知 7~11月に希望者が各自予約、受診		全て	男女	63	~ 63	基準該当者	0	前期高齢者対策として63歳(被保 険者と被扶養者)を対象に前期高 齢者65歳を迎える前に治療を終え ることを目的に実施 実施期間は7月~11月 対象者数 99名(被保険者77名、 被扶養者22名) 参加者数 18名(被保険者17名、 被扶養者1名) 実施率 18.2%	健診で要治療者、要指導の把握が できている 参加者のうち、14名の受診歴あり	既に治療中の方が多く、若年者よりは参加率は高いが、以前20%未満である。歯科治療の必要性が今後の生活の質をあげていくことを周知する。それに合わせて歯科口腔保健指導も検討する	
	3	精密検査(二次検査)	がん対策や重症化を防ぐことを目的とし受診勧奨をする	被保険者	全て	男女	35	~ 74	全員	4,154	対象者数 251名 受診者数 202名 実施率 80.5 % 受診内訳(延べ人数) 消化器系 170名 呼吸器系 27名 循環器系 7名 肝機能系 1名 受勝報果 異常なし 36名 17.8% 経過観察 115名 56.9% 有所見者 51名 25.3%	事業所の受診勧奨は定着している	未受診者の受診勧奨が必要である	3
	3	脳検診	高リスク保有者の受診による医療管理を促す	被保険者	全て	男女	40 -	~ 74	全員	641	対象者数 146名 受診者数 94名 実施率 64.4 % 受診結果 特に異常なし 63名 67.0% 経過観察 24名 25.5% 要説明5名 5.3% 精密又は治療 2名 2.1%	半日人間ドック等の結果より、高 リスク者50名に案内をし12名が受 診をした	高血圧症、高脂血症、糖尿病等が 高値で高リスク者に受診を促す	2
	3	前立腺検診	半日人間ドックで実施する	被保険者	全て	男性	50	~ 74	全員		対象者数 1,565名 受診者数 1,362名 実施率 8 7.0% 受診結果	血液検査の一環で実施しているた め、高い実施率となっている	要治療者の受診勧奨	4

予	事業					対象者						実施状況・時期		
昇	分類 注1)	事業名	事業の目的および概要	資格	対象 事業所	性別	年	齢	対象者	事業費 (千円)	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	評価 注2)
	3	婦人科等検診	・被保険者は半日人間ドック等の健診当日に合わせて実施 ・被扶養者はレディース健診や家族健診(施設健診)に 合わせて実施		全て	女性	30	~ 70	基準該当者	2,086	子宮癌 被保険者 255名 被扶養者 190名		の把握、再検査以上の方のその後 の受診状況、結果の把握、未受診	1
	1,2,5	メンタルヘルス ケア	新入社員が集まる機会(健診後など)に開催	被保険者	全て	男女	18	(上限なし)	全員	51	年2回 7月・9月 新入社員及び総務・衛生管理者対象 7月開催(参加事業所数 8事業所 参加62名) 9月開催(参加事業所数 3事業所 参加48名)	アンケート回答で概ね理解できた が7割	未参加事業所のセミナー実施が確 認が取れていない	3
	5	禁煙対策事業	健診問診から喫煙者を抽出し、案内の通知 希望者がICTを活用した卒煙プログラムに参加	-	全て	男女	18	~ 74	基準該当者	0	参加事業所 1事業所 参加人数 1名 卒煙成功者 0名 卒煙継続 1名 年度内終了なし 翌年度に継続中 ・40歳以上喫煙者(問診確認)へ DMの送付1回 ・事業所担当者説明会、HP掲載の 実施 ・新入社員等のセルフケア研修会 での周知	・各種研修会等の周知 ・特定保健指導の初回面談時に周 知・勧奨依頼	参加が低迷している 特定保健指導時の参加がなかった	1
	8	インフルエンザ 予防接種	予防接種への一部補助		全て	男女	0 -	~ 74	基準該当者	5,285	対象者数 被保険者 5,394名 被扶養者 4,387名 合 計 9,781名 接種者数 被保険者 1,890名 被扶養者 785名 合 計 2,675名 接種率 被保険者 35.0% 被扶養者 17.9% 合 計 27.3% 接種者数 (対前年比) 被保険者 173名減 91.6% 被扶養者 215名減 78.5% 合 計 388名減 87.3%		コロナ感染予防の手指の消毒等が インフルエンザ予防にもつながっ ており、接種率が多少落ちてはい る予防対策とはなっている	1

予	事業		事業の目的および概要			対象者	f				実施状況・時期				
算科 目	分類 注1)	事業名		資格	対象 事業所	性別	4	F齢	対象者	事業費 (千円)	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	評価 注2)	
体育奨励	5	体育奨励補助事業	ホームページ上で契約施設案内をし、月額利用のみでな く、都度利用も可能とし運動の機会を提供	被保険者・被扶養者	全て	男女	18	~ 74	全員	0	スポーツジム利用 利用事業所数 9事業所 利用者数(延べ人数)933人	運動習慣改善率が微増しており、 運動意識の向上につながっている	特になし	1	
直営保養所	-	-	-	-	-	-	-	~ -	-	-		-	-	-	
その他	5		新生児が誕生した被保険者を対象に、"お医者さんにかかるまでに"の冊子を配布する	被保険者	全て	男女	18	~ 74	全員	68	出生届に伴う、保険証等の配布時 に合わせて図書を配布	配布時アンケートはがきを同封し 、購読者に感想を回答いただき、 医療機関受診基準の判断や"こど も医療電話相談"が利用できるこ とを広報できたことを把握	特になし	1	
予算措置なし	-	-	-		-	-	-	~ -	-	-		-		-	

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業 注2) 1. 40%未満 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%